ＰＦ－製仕－０３８Ｅ
年　　月　　日

角型エフレックス用塩ビ製ロングベルマウス

仕　様　書

古河電気工業株式会社
ＡＴ・機能樹脂事業部門
機能樹脂技術開発部

1. 適用範囲

この仕様書は、「角型エフレックス」の壁面部材として使用される塩ビ製ロングベルマウスについて適用します。

2. 種類

塩ビ製ロングベルマウスの種類は表-1 の通りとします。

表-1　種類

品番	呼び径	対応壁厚(mm)
KFMV-50-200L	φ50	≦200
KFMV-75-200L	φ75	≦200
KFMV-81-200L	φ81	≦200
KFMV-100-200L	φ100	≦200
KFMV-130-200L	φ130	≦200
KFMV-150-200L	φ150	≦200

3. 材料

塩ビ製ロングベルマウスは、硬質塩化ビニル管を元管とします。

4. 形状・寸法

塩ビ製ロングベルマウスの形状及び寸法は表-2 の通りとします。塩ビ製ロングベルマウスは片端がベルマウス形状で、もう片端は角型エフレックスのオス部に接続できる形状とします。

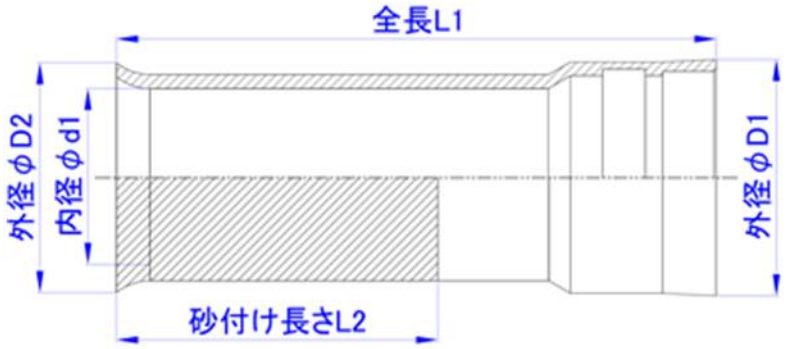

表-2　寸法

品番	呼び径	φd1(mm)	φD1(mm)	φD2(mm)	L1(mm)	L2(mm)
KFMV-50-200L	φ50	51±3	73.5±5	71±5	280±10	150(参考)
KFMV-75-200L	φ75	83±3	103.5±5	106±5	280±10	150(参考)
KFMV-81-200L	φ81	83±3	110±5	106±5	280±10	150(参考)
KFMV-100-200L	φ100	100±3	130±5	124±5	280±10	150(参考)
KFMV-130-200L	φ130	130±3	168±5	168±5	280±10	150(参考)
KFMV-150-200L	φ150	150±3	191±5	184.5±5	280±10	150(参考)

5. 特性

塩ビ製ロングベルマウスの特性は表-3 の通りとします。

表-3　特性

項目	特性	試験方法
外観	実用上不適当な傷、割れ等がないこと	6.1
寸法	表-2 に示す寸法であること	6.2
水密性	外水圧 0.05MPa で 10 分間保持したとき、漏水等の異常がないこと	6.3
引抜強度	20mm/min の速度で引張り、φ50：500N、φ75：500N、φ81：500N、φ100：800N、φ130：800N、φ150：800N で抜けないこと	6.4

6. 試験方法

6.1. 外観

目視にて確認します。

6.2. 寸法

表-2 記載の寸法についてノギスを用いて測定します。測定温度は、20±15℃とする。径は管軸に直角な同一平面で、ほぼ等しい角度を有する２ヶ所で測定した値の平均を採ります。

6.3. 水密性

塩ビ製ロングベルマウスと角型エフレックスのオス継手部を接続し、両端に栓をした状態の試料を、水を満たしたタンク内にセットし、常温で外水圧 0.05MPa で 10 分間保持し、漏れやその他の異常が無いかを調べます。

6.4. 引抜強度

塩ビ製ロングベルマウスと角型エフレックスのオス継手部を接続し、両端を把持して常温で 20mm/min の速度で引張ります。

7. 注意事項

＜一般事項、マンホールへの取り付け時の注意事項＞

・高温多湿、直射日光に当たる場所での保管はお控えください。

・プラスチック製品のため火気厳禁です。

・有機溶剤や可塑剤が接触すると、亀裂を起こす原因となります。
有機溶剤（キシレン、トルエンなど）や可塑剤（フタル酸エステル、DOP など）が付着しないようご注意下さい。特に、シーリング剤には、有機溶剤（キシレン、トルエンなど）や可塑剤（フタル酸エステル、DOP など）を含むもの（ポリウレタン系シーリング剤等）がありますので、成分をご確認の上、ご使用下さい。

・角型エフレックス接続部の内面に傷がつくと、水密性を損なう恐れが有ります。当該部に傷がつかないように、お取り扱い下さい。

・高所からの落下等、強い衝撃を与えると、割れや欠けが生じる恐れがあるのでご注意下さい。

・マンホールへの取り付けの際、養生熱が高くなると変形する恐れがあるのでご注意下さい。

・マンホールへの取り付けの際、製品の中にコンクリートが入らないようご注意下さい。

＜施工時の注意事項＞

・施工方法の詳細や注意事項については取扱説明書をご確認よろしくお願い致します。

・地盤沈下が想定される場所では、使用しないで下さい。

・マンホールに取り付けた塩ビ製ロングベルマウスの上に乗ったり、衝撃を加えたりしないで下さい。変形や破損の原因となります。

・マンホール据え付けの際は、塩ビ製ロングベルマウスの周辺に砂を充填し、十分に転圧して下さい。特にロングベルマウスの下部は、砂の充填や転圧が不十分になりやすいため、ご注意下さい。

・角型エフレックスを接続する前に、管と部品の表面を綺麗に拭いて下さい。水密性を損なう恐れがあります。

・滑材は、弊社製品である V ソープをご使用下さい。滑材は抜け止めリングには塗布しないで下さい。

・角型エフレックス本体の切断部と接続する場合は、角型アクアオスアダプタ、またはオスアダプタと組み合わせてご使用下さい。

・角型エフレックスと一度接続すると抜けない構造となっていますのでご注意下さい。

・接続部付近では、角型エフレックスの急曲げ配管は行わないで下さい。変形や破損の原因となります。

・角型エフレックスを接続後、埋め戻しの際は水締めにより管の周囲に砂を充填し、十分に転圧して下さい。特に多段配管では、管同士の間が転圧不足になり易いので、一段毎に埋め戻し、水締め、転圧を行って下さい。

8. その他

本書記載の仕様は、製品改良のためことわりなく変更する場合がありますのでご了承ください。

-以　上-

古 河 電 気 工 業 株 式 会 社